

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 九州工建株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		社員全体で「安全第一」を掲げ、品質改良、技術向上を目指し全員に共有し目標に向けて取り組んでいる。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則、労働条件通知書に明記し、常に社員全員が見える場所に保管し、社員全員に周知徹底をしている。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社全体で公正・平等な取引に努め、請負工事に対して真摯に取り組み、その重要性を全社員に徹底している。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		公共工事の施工が主になる為、監理技術者、主任技術者が主となり、各工事の周辺環境配慮体制を管理する為、着工前会議にて体制を組み立てている。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産を認識し研修や勉強会を社内で実施している。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		総務で漏れが無いようにパソコンに2重ロックをかけ、各部署のそれぞれの管理責任者を立て情報漏洩防止を徹底している。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		行政機関と契約書をかわし、工事内容、利益損害、地域社会に及ぼす影響を理解し、信頼が保てるよう直接担当者との連絡、話し合いを重ねている。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		協力会社と連携を図り環境対策やハラスメントに対する適切な対応を会議で話し合う機会を設け、共に共有徹底し、見逃さないようにしている。					5			8	10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		経営面・工事実績等を会社全体で話合い、資格取得や経営面での講習を聞きに行く今後の事業承継につながる対策を行っている。								8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		絶対差別・ハラスメントは許さない。見過ごさない。を常に徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		会社や現場での朝礼において安全会議を徹底し、KY活動、労働安全に取り組み、昨今の温暖化による業務上の熱中症にも対策をしている。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関わらず、同一労働、同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5 8.8		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		業務効率化による労働時間の短縮等働き方改革への取り組み、有給休暇取得奨励を実地しているため、家事や育児、多方面でのボランティア活動の積極的参加が出来ている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		研修体制を充実させる為、研修費、必要経費を支給し、外部研修の受講や資格取得を奨励している。			4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		従業員に毎年の健康診断を会社負担にて受診させている。全社員とそのご家族が健康で安全に過ごせるよう実施している。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営、昇格、昇給に人種、年齢、性別等の違いによる差別的待遇はない。			4.4 5.5	5.1				8.5 8.8		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビ会議等を導入している。	●		時差出勤を実施し、本社に寄らず直接現場へ出向き、Webで連絡を取り合うようにしている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		工事現場においてICT導入を用いて、情報の共有等、作業の効率化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12							
	21	【プライベート企業】 ・プライベート企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12							

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：九州工建株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		常に分別徹底、管理、処理を社員一同徹底し、産廃マニフェストに基づいて専門業者に委託し適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事務所に社員が居ない時間は、パソコン・照明の電源を切っている。事務所をLED電球に変更し、冷暖房ではサーモスタットを交互に使用し節電に取り組んでいる。工事現場の夜間照明もLEDを使用している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		会社全体で省エネを促進し続け、簡易計算シートにて毎年のCO2排出量を算出し翌年の目標を立てる。自社車両はエコモード装置車両を取り入れ、アイドリングストップ、エコドライブを意識し、比較的近隣通勤者は電動自転車や徒歩通勤を奨励して二酸化炭素排出量削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		工事現場の環境を配慮し、現場事務所にはプランターに植物を植えたものを置き、現場状況に応じた資材や機材を用い、施工工法も会議にて検討し環境に配慮している。					6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		現場の資材・備品はリサイクル品を用いており、各現場で出されるコンクリート、アスファルト、木材等は中間処理業者に運搬してもらい適切にリサイクルすることに取り組んでいる。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事務所・各現場事務所で使用する水道水の使用量を事務所に張り出し、節水出来ているか確認している。適切な利用方法を常に社員が意識出来るよう社内に節水の張り紙をしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17				
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		森林認証や再生紙の利用を積極的に行ってている。								9.4			12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		社内でフードドライブ活動を推進しており、社内でまとめた食品を地域のスーパーの回収窓口へ持ち込みしている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17			
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		各現場事務所にて草花のプランター設置をし、本社事務所では植物を植えて緑化を推進している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		現場や、本社においてLED電球への移行を進めている。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3									
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15						
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15						
	34	【海洋ごみ】 ・環境中に分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		海・川の掃除ボランティアへ参加し船でごみ収集を行い、寄付もさせて頂いたので、これからも海洋ごみの削減に社員一同取り組んで行くよう促進している。											12.2 12.5		14							
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		交通渋滞による時差出勤を進めており、通勤まで約2kmの従業員は自転車や徒歩通勤を奨励している。自社で電動自転車も購入し現場までの移動に使用するなど、交通手段も環境に配慮するよう社内で進めている。							9.4		11.2		13.1 13.3									
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13								17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：九州工建株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		各現場への定期パトロールや社内検査、中間検査、周辺調査、竣工検査にて安全性や品質を確保している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		工事現場を安全に通行できるように、誘導マット、電光掲示板、段差スロープ等を常に設置し、本社階段には手すりを設置している。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		県産材を使用したアスファルト合材、路盤材の使用を続けており、地産地消に取り組んでいる。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		自社受付木製カウンターや手作り神棚、事務所室内木材壁使用など木材の温かみを実感している。						7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		バイオディーゼル燃料の普及を図る為、家庭廃食油を社内で回収し取引銀行で回収しているので提供に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4								8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		市の防消防団協力事業所に登録しており、常日頃から社会貢献活動として清掃やボランティア活動、災害時の事務所トイレ貸出等、積極的に社会貢献活動に協力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、事務所倉庫に防災備蓄や防災グッズを常備している。	●		事業所において、ハザードマップを確認し、事務所倉庫に防災備蓄や防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		建設業協会会員となっており、県・市と防災協定を締結し様々な要請に対応できるように準備している。また社員の半数以上が救急救命講習、AED講習を受講し、本社、現場事務所へはAEDを設置している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		SDGsの推進に向け、建設業協会主催説明会に参加し、従業員に対して情報提供をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		職場体験、インターンシップを積極的に受け入れており、学生の実習体験の場を設けている。また毎年専門学校に仕事内容やこれまでの経験を講和している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		地元の学生、若者を積極的に雇用している。				4.4						8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。